

令和7年度

再犯防止×地方創生ワークショップ研修



▲静岡・神奈川グループ

- 10月14日
事前講義 @オンライン
- 10月31日
千葉・東東京グループ @千葉刑務所
- 11月10日
長野・埼玉グループ @長野刑務所
- 11月12日
栃木・茨城グループ @栃木刑務所
- 11月14日
山梨・西東京グループ @甲府刑務所
- 11月17日
静岡・神奈川グループ @静岡刑務所
- 12月11日
群馬・新潟グループ @前橋刑務所

本研修に御参加いただいた自治体におかれましても、改めてこの場で御礼申し上げます。



本年度は、1都10県で6つのグループを作り、矯正施設を会場とする形でグループワークショップを開催しました。ワークショップに先立ち、東京大学早川准教授による地方創生概論の講義、自治体等と矯正施設の連携事例の紹介をオンラインで実施した後、ワークショップでは、外部講師に協力を賜り、矯正施設と自治体が連携し、刑務所出所者等の地域生活定着に向けた支援体制の充実化を目指して、再犯防止や地方創生に資する取組を共に検討しました。参加者は、講義で得た知識をもとに具体的な課題やアイデアを共有し、実践的な解決策を模索する場となりました。

～講師紹介～

田園調布学園大学子ども教育学部子ども教育学科 長谷川 洋昭 教授

東京大学先端科学技術研究センター 早川 公 特任准教授

東京大学教養学部・総合文化研究科附属教養教育高度化機構社会連携部門 山岡 あゆち 特任講師



令和7年度関東矯正管区作成

再犯防止啓発動画

が完成しました。

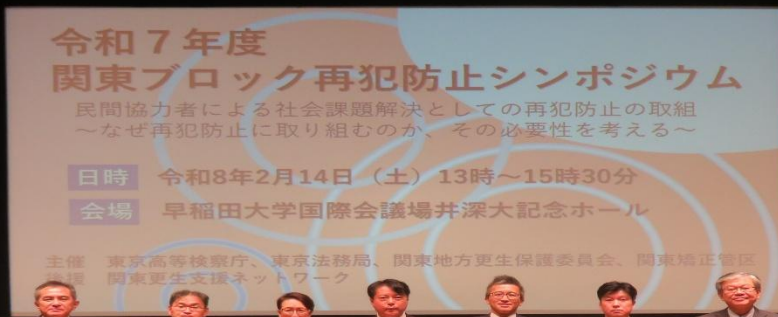


YouTube法務省公式チャンネルに掲載しておりますので、ぜひ御覧ください！
(右QRコードから御覧いただけます。)



本動画では、法務省広報公式マスコットキャラクター「ももちゃん」と刑務官及び法務教官の掛け合いを通して、矯正施設の現状や再犯防止に必要なことについて説明しています。

庁舎モニターや再犯防止に関するイベント等において、動画の活用に御協力いただきますよう、お願い申し上げます。



令和8年2月14日(土) 早稲田大学国際会議場井深大記念ホールにおいて、
「令和7年度関東ブロック再犯防止シンポジウム」
 が開催されました。

- 会場対面と同時オンライン配信によるハイブリッド方式
- 主催：東京高等検察庁、東京法務局、関東地方更生保護委員会、関東矯正管区

本年度は、「民間協力者による社会課題解決としての再犯防止の取組～なぜ再犯防止に取り組むのか、その必要性を考える～」をテーマとし、関東矯正管区が主担当として本シンポジウムを企画・実施しました。

第1部リーディング講演では、元当事者、企業、福祉団体、マスコミといった様々な分野の講師に御登壇いただき、それぞれの視点から、幅広く地域の社会課題解決という視点で取り組みを御紹介いただきました。また、学生にも御登壇いただき、次世代を担う学生の立場から、日々の学習や活動の成果等について発表していただきました。

- 当事者・支援者として～ NPO法人再非行防止サポートセンター愛知 理事長 高坂 朝人 氏
- 事業者の立場から～ 株式会社キズキ 代表取締役社長 安田 祐輔 氏
- 福祉の視点から～ 社会福祉法人邑元会 しびらき 施設長 相浦 卓也 氏
- 社会の目（報道）から～ 読売新聞東京本社 編集委員室 猪熊 律子 氏
- 学生の立場から～ 田園調布学園大学BBS会、文京区BBS会、立教大学掛川ゼミ
早稲田大学小西ゼミ、早稲田大学広域BBS会

第2部パネルディスカッションでは、市原青年矯正センター長による矯正施設における再犯防止の取組紹介の後、ファシリテーターである早稲田大学の小西教授の司会進行で、社会や地域住民に再犯防止の取組が受け入れられるために必要なこと、大学生や若者に期待すること等について、議論が交わされました。

- ファシリテーター 早稲田大学法学学術院 教授 小西 暁和 氏
- パネリスト 上記講師4名のほか
市原青年矯正センター センター長 稗田 崇 氏



本シンポジウム当日は、現地参加・オンライン参加を合わせて約360名の方に御参加いただき、多くの方に再犯防止と地域による包摂を考えてもらう良い機会となりました。

◀市原青年矯正センター長